

先の 4 月 19 日(日)に行われた新試験制度 1 回目となる平成 21 年春期の情報処理技術者試験について、先月発表された IT パスポート / 基本情報 / 初級シスアド試験以外の 6 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、プロジェクトマネージャ試験の合格発表コメントをお知らせします。

### プロジェクトマネージャ試験 (PM)

〔平成 21 年春期のプロジェクトマネージャ試験 統計情報〕

応募者	16,241 人
受験者	9,372 人
合格者	1,187 人
合格率	12.7%

プロジェクトマネージャ試験は、旧試験制度では秋に実施されていましたが、春実施に変わりました。内容的には従来のプロジェクトマネージャ試験と同等のレベル・内容で実施される試験で、従来、取り上げられることのなかった組込みシステムの事例も午後試験で取り上げられることになりました。また、新試験から従来の午前試験が午前（共通知識）と午前（専門知識）の試験に分かれました。

第 1 回目の実施となる平成 21 年春期のプロジェクトマネージャ試験では、昨年の平成 20 年秋期のプロジェクトマネージャ試験に比べ応募者が 2,000 人弱増えました。合格率は昨秋の 12.1% より若干増加し 12.7% でした。

〔午前 の高度試験 共通問題〕

・高度試験に共通して出される問題 30 問は、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていました。過去問題の比率は約 6 割で、新試験になったことが理由と思われるが従来より少なくなっています。

・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

問 7 (= AP 問 21) 代表的な OSS,

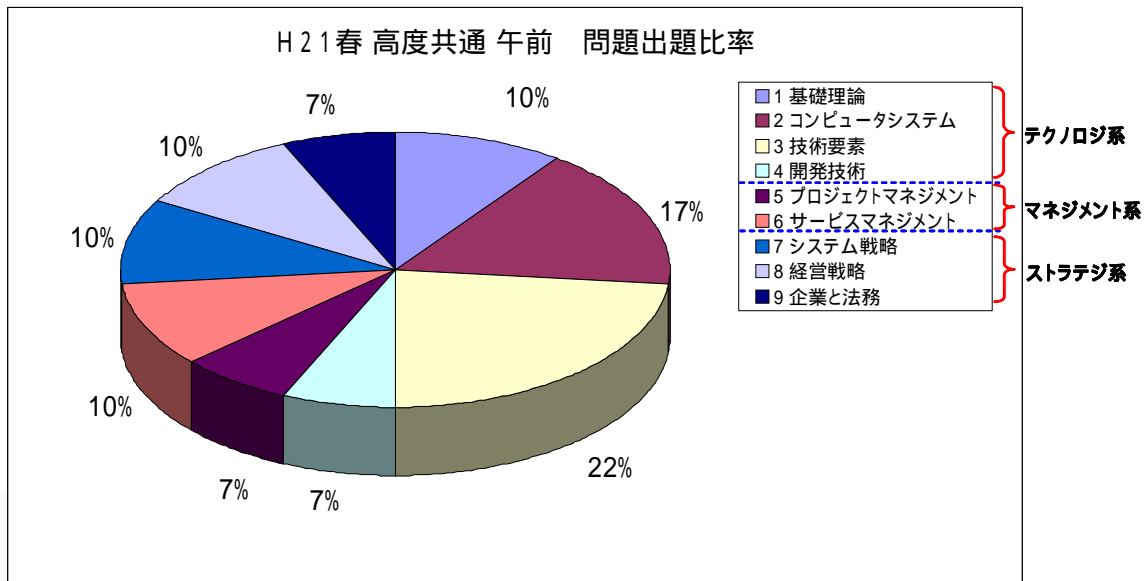
問 9 (= AP 問 25) Web ページに情報を表示する目的

問 11 (= AP 問 32) 概念データモデルの解釈 (UML 記法),

問 15 (= AP 問 41) 不正侵入のための経路 (バックドア),

問 27 (= AP 問 70) TLO 法 (大学等技術移転促進法)

平成 21 年春期の高度試験共通 午前 問題出題比率



〔午前 の専門知識問題〕

午前 試験は出題範囲が決まっています、今回の新試験ではプロジェクトマネジメントとサービスマネジメントで半分以上の出題になっています。後で表に示すように受験者の 96.4%もの人が基準点の 60 点以上を取っており、非常に易しい問題だといえます。しかし、今後はもう少し難易度の高い問題が予想されますので、学習は確実に実施しておく必要があります。

新傾向問題としては、次の問題が挙げられます。

問 10 リスク対策の立案， 問 11 リスクが高くなる契約形態

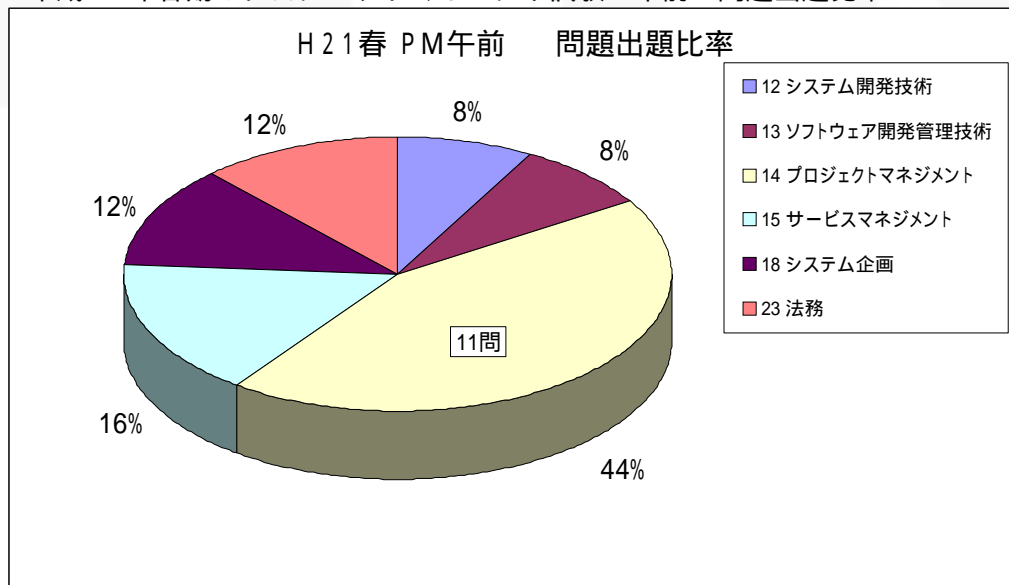
問 12 アクティビティとテストの組合せ， 問 14 ハードウェア保守点検

問 18 業務プログラムの運用・保守， 問 19 IT サービスマネジメント導入手順

問 20 サプライチェーンマネジメントの改善指標，

問 22 共通フレーム 2007（要件定義プロセス）

平成 21 年春期のプロジェクトマネージャ試験 午前 問題出題比率



〔午後問題〕

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。今回から解答数が3問から2問に減りました。データベースやセキュリティ試験のように1問あたりの設問数など解答する量は増えていませんので、受験者負担は軽くなりました。

・問4が新試験から加わった組込みシステムの出題ですが、専門知識が必要な内容ではありませんでした。

問1 プロジェクトのリスク管理（製薬会社の生産管理システム） やや難

問2 外部委託先の選定（金融機関の事務センタ） 普通

問3 プロジェクト推進方法の見直し（動画配信管理システム） 普通

問4 ソフトウェア開発の品質管理（携帯電話，組込みソフトウェア開発） 普通

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。どれも一般的なテーマでした。

新試験では各設問に字数制限付き，設問ア：800字以内，設問イ：800字～1,600字：設問ウ：600字～1,200字となっています。

問1 システム開発プロジェクトにおける動機付けについて（要員管理）

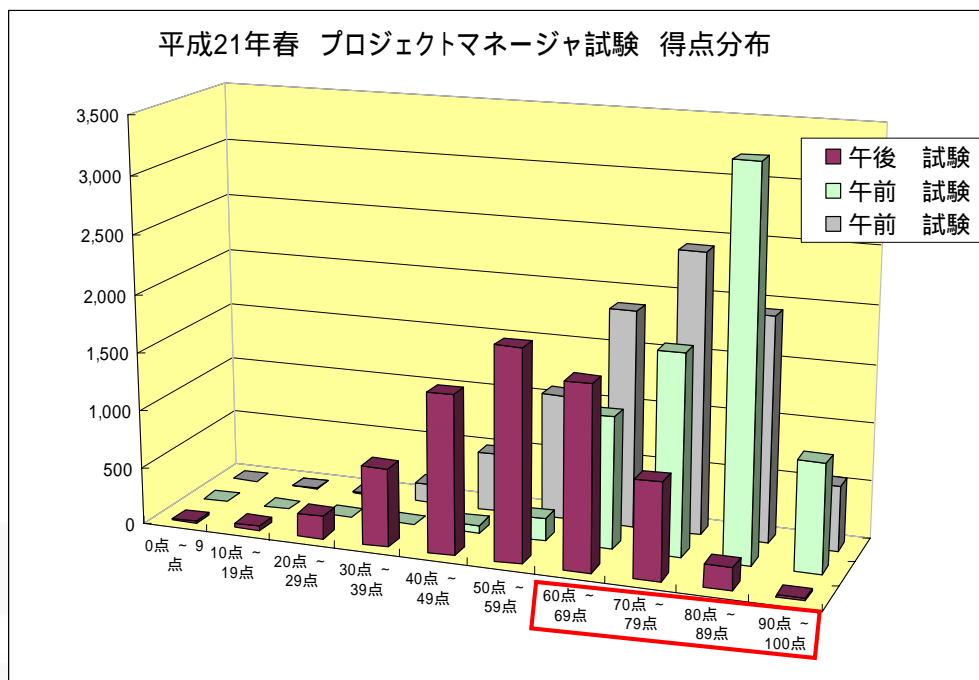
問2 設計工程における品質目標達成のための施策と活動（品質管理）

問3 業務パッケージを採用した情報システム開発プロジェクトについて

〔平成21年春 プロジェクトマネージャ試験 スコア分布〕

得点	午前 試験	午前 試験	午後 試験	午後 試験	合格者
0点～9点	4	2	16	D 419	
10点～19点	3	0	43		
20点～29点	20	2	200	C 292	
30点～39点	164	5	679		
40点～49点	506	67	1,368	B 711	
50点～59点	1,088	193	1,817		
60点～69点	1,880	1,135	1,581	A 1,187	
70点～79点	2,426	1,728	834		
80点～89点	1,942	3,319	200		
90点～100点	561	942	16		
計	8,594	7,393	6,754	2,609	1,187
対前試験比率		86.0%	91.4%	38.6%	45.5%
午前 免除者(概数)	584				

合格者数	1,187	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60点以上合計	6,809	79.2%	5,622
午前 60点以上合計	7,124	96.4%	5,937
午後 60点以上合計	2,631	39.0%	1,444
午後 60点以上合計	1,187	45.5%	0



得点分布を分析してみると、高度系共通の午前試験で基準点(60点)以上の方は6,809人(受験者の79.2%)、午前試験で基準点以上の方は7,124人(受験者の96.4%)と非常に高率になっており、問題の難易度としては全体に易しかったといえます。他の高度試験でも同じような傾向があり、今後は午前、午前試験ともに、難易度が上がっていくのではと予想されます。また、午前試験で基準点以上の方は、2年間午前試験が免除になるので、次回の午前を受ける人は全受験者の2~3割程度に減少すると予想されます。

午後で基準点(60点)以上取れた人はそれぞれ39.0%で、前回の平成20年秋の試験の47.7%に比べて8%ほど下がっており、前回よりも難しかったと考えられます。午後で合格点のA評価を取れた人は50.9%で、前回と大差はありませんでした。

#### 今回合格された人

合格された方で秋のネットワークスペシャリストやシステムアーキテクト、ITストラテジスト、ITサービスマネージャ試験を目指す方は、まず午前の専門知識について、なるべく早く試験対策を始められることをお勧めします。

新試験のシステムアーキテクト、ITストラテジスト、ITサービスマネージャ試験を受けられる方は、新試験の内容や出題範囲をよく理解して学習することが必要です。これらの試験は、午後が論述式で、合格するために第三者の添削が欠かせません。アイテックの通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックで出版している試験対策用の教科書(基礎テキスト)は新試験用にレベルごと分野ごとに新たに編集し直したものです。また、出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」、各試験別の予想問題集、本試験問題は新試験対策用に大改訂しています。これらすべての書籍が書店またはアイテックのWebページでご購入いただけます。ぜひご利用下さい。

通信教育コースでは、教科書、問題集、模擬テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間4か月の「速習コース」(短期コース)、午後試験免除者対象に午後問題を重点的に学習する「免除者コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は試験対策のノウハウや専門知識の理解が深まると好評を頂いており、お勧めです。締切の近いセミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

満員御礼になったコースもあります。お早めにお申込みください。

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

今回残念ながら不合格だった人

まず、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。苦手な分野は、アイテック刊行の新試験用のレベル3の教科書（通信教育教材）でじっくり学習しましょう。

今回の午前試験の得点が50点～59点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。

また、午後試験の得点が60点に満たなかった人は、まず午前の専門知識レベルで、午後試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。また、午後の論文試験でA評価でなかった人は、自分の経験を一度棚卸しして、どのようなコストや時間、メンバのマネジメントなどでどのようなことをして、どんな問題が発生したかなどを整理しましょう。アイテックの論文対策テキストでは、具体的な論文事例も含めて解説してありますので、ぜひ活用してください。

次に確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。新試験では選択範囲が広がったことで解答しやすくなるとも言えますので、チャンスが広がると考え、早めに対策を行いましょう。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「午前に出る情報技術」や予想問題集、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト（論文あり試験では添削含む）をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト（2回）を含んだ標準学習時間4か月の「速習コース」（短期コース）、午後試験免除者対象に午後問題を重点的に学習する「免除者コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

満員御礼になったコースもあります。お早めにお申込みください。

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

（以上）